

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月25日 更新

事務事業名		結核予防事業					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政 策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	健康福祉部	課長名	安武祐次		
	施 策	15	健康づくりの推進					所属課	健康づくり推進課	担当者名	八木美保		
	基本事業	44	病気の早期発見					所属班	健康推進班	(内線)	2169		
予算科目		会計 一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 10366	法令 根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医 療に関する法律			成果優先度評価結果	⑩	
										コスト削減優先度評価結果	⑥		
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・ きっかけ・今後の 状況変化を含む)	胸部レントゲン撮影より、結核を早期に発見する事業。①65歳以上の市民の方を対象に、菊池広域保健センターに委託し、養生園での撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回する。②委託料は、1件あたり 680円 ③健診時期は、6月～8月、10月～11月。 昭和26年制定の結核予防法により健診の義務付けられていたが、平成17年度より結核予防法の改正があり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律となった。
【業務の流れ】	菊池広域保健センターと委託契約の締結。対象者特定のための電算処理。対象者へ通知発送。通知不要者の入力。健診結果発送。請求支払い事務。
【主な予算費目】	賃金、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、 事業対象者、利害関 係者等)からどんな 意見や要望が寄せ られているか?	法改正以前は19歳以上が対象であったため、毎年受診していた人から「毎年レントゲンをとらなくてよいのか」という問い合わせがあったため、生活習慣病健診受診時など、対象外の人も有料で撮影できるよう機会を設けた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
菊池広域保健センターでの撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回してのレントゲン撮影を実施する。 受診者数3,646人。		21年度同様に健診を実施。広報等で健診の周知を図る。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア 受診者数	人	健診委託料(窓あき封筒印刷代)の増
⇒イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
65歳以上の方で、医療機関等でレントゲン撮影をする機会のない方	⇒ア 65歳以上の住民で他に受診する機会のない方	人
⇒イ		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
健診を受診することにより、結核を早期に発見し、早期治療を受けることができる。	⇒ア 要精密者の受診率	%
⇒イ	結核の発見者数	人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
健診を受診し、結核の発見者数と要精密者の受診率が向上することで結核感染者が発見できる。		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標		ア	人		3,548	3,708	3,560	3,646	3,560	3,570	3,580	
② 対象指標		ア	人		6,000	5,647	6,000	3,646	6,000	6,000	6,100	
③ 成果指標		ア	%		88.2	89	100	100	100	100	100	
		イ	人		0	0	0	0	0	0	0	
投 入 費 量	業 務 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	2,963	2,522	3,168	2,996	3,190	3,200	3,200	
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	2,963	2,522	3,168	2,996	3,190	3,200	3,200		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	1	1	1	5	1	1	1		
延 べ 業 務 時 間	延べ業務時間	時間	280	270	320	145	320	320	320			
	(B)人件費計	千円	1,120	1,074	1,273	597	1,318	1,318	1,318			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,083	3,596	4,441	3,593	4,508	4,518	4,518			

(期間限定複数年度のみ記載)	
	0

事務事業名	結核予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 結核や健診受診の必要性について周知をしていくことで受診率の向上を図り、目標を達成できると考える。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 検診受診者の固定化がみられるため、長期未受診者の方が受診できる体制について検討が必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人件費で対応しているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 結核になる確率が高く、健診を受ける必要のある65歳以上の市民においては健診費用の負担はなく、それ以外の年齢の方で結核健診を希望する市民には、自己負担で健診の機会が確保されているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 健診実施には専門的技術・知識を必要とするため、委託にて対応しており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

健診の機会があることで、早期発見・早期治療、結核の集団発生予防にもつながる。結核や結核予防についての周知に努め、受診率や精密検査受診率の向上を図る。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 今後も受診率の向上をはかり、早期発見・早期治療・予防に努めていく。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								